

# 国際農業連携活性化特別対策事業（新規）

（新世代の日系農業者との連携活性化による国際協調の促進）

## 1. 趣 旨

- （1）中南米諸国には、戦後海外移住し、現地で活躍している日系農業者が多数存在しており、なかでもブラジルにおいては現在約19万人の日系農業者が活躍し、日系農協も60以上組織されている。こうした日系農業者については、近年、二世、三世世代の若手経営者へと世代交代が進みつつあり、日系農協においてもこうした中から中心的な役割を担い、地域農業をリードする優秀な若い経営者が生まれてきている。
- （2）本事業は、こうした新世代の日系農業者との連携を、我が国及び中南米諸国等の農業者組織の交流を通じて活性化させることにより、中南米諸国等の日系農業者の経営近代化を支援するとともに、我が国及び中南米諸国等双方の資源、技術、資金等を活かしたアグリビジネスの創出を支援することにより、我が国の農業活性化を図り、あわせて我が国の国際協調の促進を行うものである。

## 2. 事業内容

- （1）農業技術開発支援事業  
農業技術普及交流センターにおいて、日系農業者の研究、技術指導に関するニーズを踏まえた試験研究を行う。  
農業技術普及交流センターを核として、国内外の試験研究機関や大学、現地農協等との共同研究体制の整備を行う。  
現地農業者等を活用した農業技術の効果的な普及システムを構築する。
- （2）農業技術普及交流事業  
農業技術や経営管理能力を有し、地域リーダーとなりうる日系農業者の育成に向けた研修等を実施する。  
日系農業者の経営改善を図るため、専門家の派遣、異業種交流会の開催、農業援助資金に対する利子補給等を行う。
- （3）農業情報受発信事業  
試験研究成果や、現地の取組み事例等についての収集、データベース化を図るとともに、現地の状況を踏まえた多様な媒体を活用した情報発信を行う。
- （4）二国間農協連携促進事業  
我が国農協と伯国日系農協等との連携を核としたアグリビジネスの事業化に向けた、事業化可能性調査の実施及び販路開拓等に対する支援を行う。

## 3. 事業実施主体等

- （1）事業実施主体：全国拓植農業協同組合連合会（JATAK）
- （2）補助率：定額、1/2以内
- （3）事業実施期間：平成18年度～平成22年度

## 4. 平成18年度概算決定額

139,359( )千円

【担当課：農村振興局企画部農村政策課】